

感染対策

問 新型インフルエンザの今後の対策は

答 対策本部を設置しました



柏原良章議員

【新型インフルエンザ】

問 国内で500人以上の感染者が発生し、WHO（世界保健機関）が大流行を示しました。村としては外国人を含む多くの誘客をする中で、感染に十分な対策が必要と思いますが。

村長 4月30日、『新型インフルエンザ対策本部』を設置し、広報、啓発や対策を進めています。新型インフルエンザにより、修学旅行のキャンセルも出て影響が大きいく、村内での発生もあり得るので、感染拡大防止と早期対応をしていきます。

【観光振興】

問 多くの観光客を招く村として、自然を守る森林整備を早く進めて行くべきと思いますが。

村長 森林整備費用として国・県で7割の補助、村では標準経費の1割を補助して、所有者の負担軽減、森林整備環境作りを施策としています。森林整備を団地化して行うことにより、効率的な広範囲整備が可能で、県・村でも積極的に推奨しています。条件により異なりますが、1ha当たり5千円以下でできます。

村長 5月4日『第30回塩の道祭り』、5月23日『北アルプス開山祭』、7年目を迎える『白馬AIPS花三昧2009』、クリスマスイベントは開催時期・内容を一新し

集客力を増します。費用対効果を考え、民間とも協力し宣伝に努力して行きます。

【鳥獣被害対策】

問 鳥獣による農作物被害が大変増加していますが、電気柵・狩猟も含めた対策は。

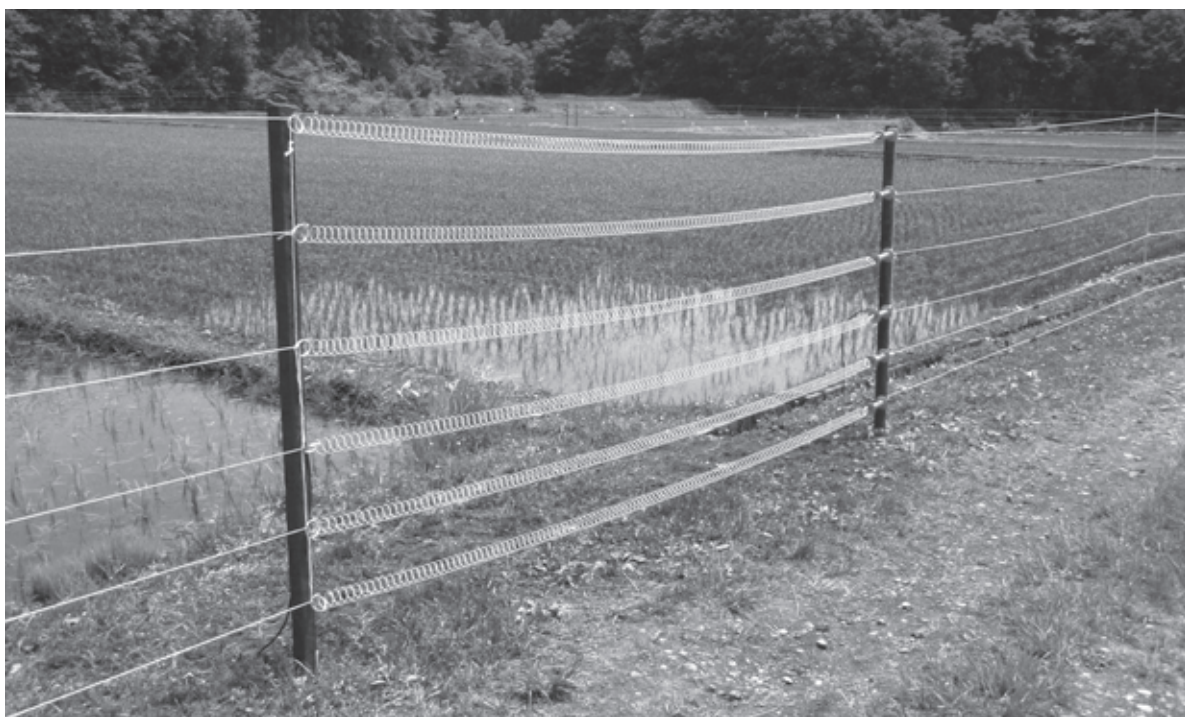
村長 昨年度、村内東側の農地でイノシシ等の被害が多く耕作意欲の減退にもなりかねず、猟友会にも捕獲をお願いしました。電気柵の設置が有効でありますので、国の補助制度を活用し設置していきたい。また、個人に対する購入費補助制度も新設しました。

【道路改良】

問 県道33号白馬美麻線の改良工事は、測量設計は済んでいるようですが工事着手はいつになりますか。

村長 平面測量のみで、着工の目途は立っていますが、関係者の協力をいた

だき工事が早くできるよう要望していきます。



神城土橋地籍の電気柵